

# 九州の鉱工業生産動向

### 生産は持ち直しの動きが見られる 基調判断

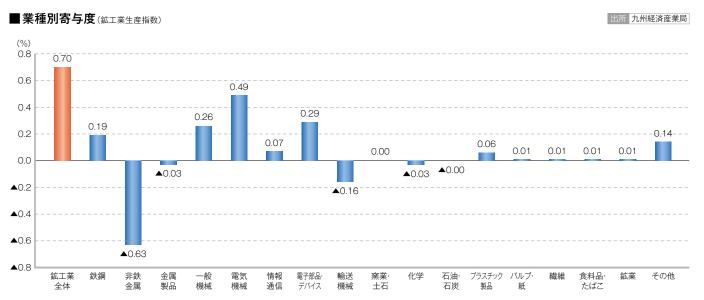
2012年1月の九州地区の鉱工業生産指数(季節調整済)は、前月比0.7%上昇の108.1と4ヵ月連続で上昇し ました。

国内外の需要の先行きに一部不透明感はあるものの、電気機械は太陽電池モジュールの生産が好調な他、電子 部品·デバイス、鉄鋼では高操業が続く自動車生産の好影響が波及する等、生産は持ち直しの動きが見られます。



### 全17業種中、電気機械、電子部品・デバイス等の12業種が上昇 業種別動向

業種別の寄与度をみると、非鉄金属は銅製品の生産が減少した他、輸送機械では自動車関連が高操業を維持し つつも小幅な減産となりましたが、一方で、住宅向け太陽電池モジュールの増産があった電気機械や、車載用マイコ ンの生産が好調な電子部品・デバイス、自動車用鋼板の生産が増加した鉄鋼の上昇等が、プラスに寄与しました。



# 福岡県の最近の経済動向

#### 緩やかな持ち直しの動きが続いている 福岡県の景気

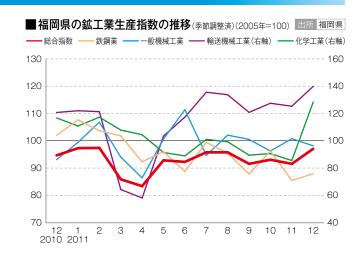
生産活動については、タイの洪水による部品調達難の影響も緩和し、輸送機械、鉄鋼、化学が2ヵ月ぶりに上昇 する等、緩やかな持ち直しの動きが続いています。

消費面では、大型小売店販売額は、各種セールが好調で衣料品等が増加した他、新博多駅ビルの開店効果も あり前年を上回っています。住宅建設については、貸家が前年同月の水準には及ばず前年を下回りました。

### 総合指数は2ヵ月ぶりに上昇 1.生産活動

12月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見 ると、総合指数は96.9となり、前月比6.0%上昇しま した。

主要業種では、タイの洪水による部品調達難の影 響が緩和し、北米向け輸出車等の生産が好調だった 輸送機械が上昇したことに加えて、鉄鋼、化学の生産 が増加したことも、プラスに寄与しました。



### 12ヵ月連続で前年を上回る 2.大型小売店

1月の大型小売店販売額は、前年同月比4.1%増の 614億円と、12ヵ月連続で前年を上回りました。

家庭用品等の一部品目は前年を下回ったものの、 各種セールが好調で、バッグ等の身の回り品をはじめ とした衣料品が全体的に増加した他、新博多駅ビルの 開店効果もあり、前年を上回る状況が続いています。

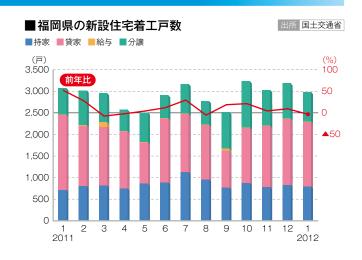




#### 5ヵ月ぶりに前年を下回る 3.住宅建設

1月の新設住宅着工戸数は、前年同月比2.9%減の 2,985戸と5ヵ月ぶりに前年を下回りました。

持家は前年を上回った他、分譲マンションも販売在 庫の減少等を背景に好調を維持している一方で、貸 家は着工が集中した前年同月からの反動減により、前 年を下回りました。



### 請負金額は3ヵ月連続で前年を上回る 4.公共工事

1月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比 4.1%減の674件、金額は同5.4%増の177億円とな り、請負金額は3ヵ月連続で前年を上回りました。

発注者別では、「国 | 「独立行政法人等 | 「市町村 | が 前年を下回ったものの、特別養護老人ホーム等の大型 案件があった「その他」や「県」が大幅に増加しました。



### 負債総額は前年を上回る 5.企業倒産

2月の企業倒産(負債額1.000万円以上)は、件数 は前年同月比30.0%増の26件、負債総額は同 26.8%増の28億円となりました。

今月は、不動産販売業で約9億円の大型倒産が あった他、販売不振を原因とする不況型の倒産が、木 材加工業、洋菓子販売業等で見られました。



# 熊本県の最近の経済動向

### 熊本県の景気 持ち直しの動きが続いている

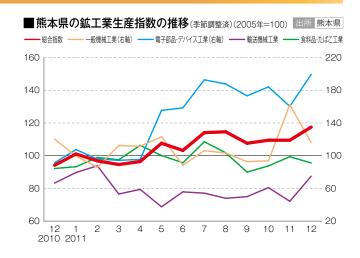
生産活動については、自動車・スマートフォン向け半導体集積回路等の増産があった電子部品・デバイスや輸 送機械が上昇し、高い生産水準を維持する等、持ち直しの動きが続いています。

消費面では、大型小売店販売額は、主力の飲食料品が低調だったことに加え、昨年の年初にショッピングセン ターが閉店した影響が続いており、11ヵ月連続で前年を下回っています。住宅建設は、貸家の着工が好調で、前 年を上回りました。

### 総合指数は3ヵ月連続で上昇 1.生産活動

12月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見 ると、総合指数は117.3となり、前月比6.9%上昇しま した。

主要業種では、金型の生産が減少した一般機械等 が低下した一方で、自動車・スマートフォン向け半導体 集積回路等の増産があった電子部品・デバイスや輸送 機械の上昇がプラスに寄与しました。



## 2.大型小売店 11ヵ月連続で前年を下回る

1月の大型小売店販売額は、前年同月比5.4%減の 150億円と、11ヵ月連続で前年を下回りました。

飲食料品や家電、家庭用品等の販売が低調だった ことに加えて、昨年の年初に大型ショッピングセン ターが閉店した影響も続いており、全体では前年を下 回っています。





### 2ヵ月連続で前年を上回る 3.住宅建設

1月の新設住宅着工戸数は、前年同月比4.1%増の 713戸と前年を上回りました。

分譲はマンションの新規着工が無く、また、持家も 前年を下回ったものの、貸家は低調だった前年同月の 反動増により、前年の水準を大幅に上回っています。



### 請負金額は10ヵ月ぶりに前年を上回る 4.公共工事

1月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比 7.9% 増の522件、金額は同6.4% 増の97億円となり、 請負金額は10ヵ月ぶりに前年を上回りました。

発注者別では、小学校改築工事の大型案件があった 「市町村」が大幅に増加しています。



## 5.企業倒産 | 負債総額は前年を下回る

2月の企業倒産(負債額1.000万円以上)は、件数 は前年同月比半減の6件、負債総額は同60.6%減の 4億円となりました。

建築・不動産関連で2億円の大型倒産があったもの の、中小企業金融円滑化法等の金融支援制度が倒産 抑制に寄与し、負債総額は総じて低い水準で推移して います。



# 長崎県の最近の経済動向

### 長崎県の景気 一進一退で推移している

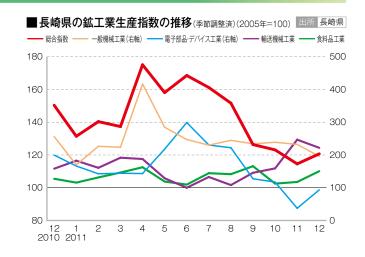
生産活動については、輸送機械が4ヵ月ぶりに低下した一方で、前月大幅に落ち込んだ電子部品・デバイスは 6ヵ月ぶりに上昇する等、業種毎に一進一退の動きが見られます。

消費面では、大型小売店販売額は、飲食料品が低調だった他、7月末の百貨店閉店の影響が大きく、6ヵ月連 続で前年を下回りました。住宅建設については、持家、貸家が前年を上回った他、分譲マンションの着工もプラス に寄与しました。

### 総合指数は6ヵ月ぶりに上昇 1.生産活動

12月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きをみ ると、総合指数は120.1となり、前月比4.7%と6ヵ月 ぶりに上昇しました。

主要業種では、輸送機械は新造船の一服等により 4ヵ月ぶりに低下した一方で、前月大幅に落ち込んだ 電子部品·デバイスは半導体集積回路の増産等により 6ヵ月ぶりに上昇する等、業種毎に一進一退の動きが 見られます。



### 6ヵ月連続で前年を下回る 2.大型小売店

1月の大型小売店販売額は、前年同月比5.1%減の 105億円と、6ヵ月連続で前年を下回りました。

7月末の百貨店閉店の影響が依然続いており、飲 食料品、家電、家庭用品等、一部の衣料品を除いた多 くの品目で前年を下回る等、全般的に低調に推移しま した。







### 2ヵ月ぶりに前年を上回る 3.住宅建設

1月の新設住宅着工戸数は、前年同月比17.0%増 の578戸と前年を上回りました。

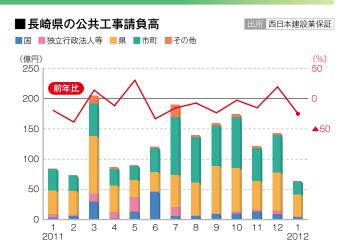
持家、貸家が前年を上回った他、分譲マンションの着 工も見られたことから、全体でも前年を上回りました。



### 請負金額は2ヵ月ぶりに前年を下回る 4.公共工事

1月の公共工事保証請負状況は、件数は前年同月 比4.1%減の331件、金額が同24.9%減の64億円と なり、請負金額は2ヵ月ぶりに前年を下回りました。

今月は大型案件が乏しく、発注者別では、「国 | 以 外は全て前年を下回っています。



### 負債総額は前年を上回る 5.企業倒産

2月の企業倒産(負債額1.000万円以上)は、件数 は前年比半減の4件となりましたが、負債総額は前年 同月比10.7%増の10億円となりました。

ホテル業で約5億円の大型倒産があったことから、 負債総額は前月比でも増加しています。

